



● ● ● ● ● ●

森 雅志富山市長、須藤 晃芸術監督、 絲山 秋子氏(芥川賞作家)との鼎談のご案内

1.日 時 平成 28 年 10 月 9 日(日) 13 時 30 分～15 時(予定)

2.場 所 TOYAMAキラリ2階ロビー

3.鼎談内容 「芥川賞作家から見た富山市」

4.鼎談者

・富山市長	森 雅志
・富山市民文化事業団芸術監督	須藤 晃
・芥川賞作家	絲山 秋子
・コーディネーター (KNB アナウンサー)	平島 亜由美

絲山秋子氏は、富山市が主要舞台の一つとなっている「不愉快な本の続編」の他、北日本新聞に紀行エッセー「I×TOYAMA サイコロの旅」を1年間にわたり連載されるなど、度々県内を訪れ取材されています。その絲山秋子氏から、コンパクトなまちづくりや環境モデル都市として、全国から注目される富山市をどのように見ておられるのか、お話を伺います。

(入場無料・予約不要)

絲山 秋子氏の経歴

絲山 秋子(いとやま あきこ、1966年11月22日 -) 小説家。群馬県高崎市在住。

早稲田大学政治経済学部経済学科卒。

2003年「イツ・オンリー・トーク」で第96回文学界新人賞を受賞し小説家デビュー

2004年「袋小路の男」で第30回川端康成文学賞受賞

2005年「海の仙人」で第55回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞

「逃亡くそたわけ」で第133回直木賞候補および第27回野間文芸新人賞候補

2006年「沖で待つ」で第134回芥川賞を受賞

2011年「不愉快な本の続編」を発表(富山市が主要舞台の一つ)

2014年～2015年 北日本新聞に「I×TOYAMA サイコロの旅」と題して富山県内各地を訪問しコラムを連載

2016年「薄情」で第52回谷崎潤一郎賞を受賞(授賞式 平成28年10月11日)

「イツ・オンリー・トーク」は「やわらかい生活」(2006年)のタイトルで映画化され、さらに「逃亡くそたわけ」(2007年)、「ばかもん」(2010年)も映画化されている。

現在は、執筆活動の傍ら

ラジオパーソナリティ(ラジオ高崎 2015～「絲山秋子のゴゼンサマ」担当)

高崎経済大学非常勤講師(2014～)、同大学理事(2015～)

群馬県文化審議委員(2015～)を務める。

お問い合わせ:企画管理部 文化国際課

電話 076(443)2040

